

生活の管理と契約に関する領域

# 横浜銀行独自の金融教育プログラム「はまぎん おかねの教室 ／おかねの基礎教育」の特徴と活用事例について



はまぎん

## おかねの教室 ウェブサイト

おかねはすぐ身近にあるのに、分からないこと、知りたいことがいっぱい。  
おかねの教室と一緒に学んでみませんか？  
おかねにまつわる、習うようで習わない疑問をわかりやすく説明した  
動画をはじめ、クイズなど楽しい便利なコンテンツもあるよ！

はまペン先生

対象者別に気軽にダウンロードできる教材もたくさん！

おかねって何なのだ？

おかねをステキに使うのだ

おこづかいちょうをつけてみよう!!

公益財団法人 消費者教育支援センター 主催  
消費者教育教材資料表彰2023  
内閣府特命担当大臣賞

横浜銀行 | CONCORDIA  
コンコルディア・フィナンシャルグループ

株式会社横浜銀行 地域戦略統括部 プロフェッショナル (金融教育・ブランディング領域)

橋本長明

# 横浜銀行独自の金融教育プログラム「はまぎん おかねの教室／おかねの基礎教育」の特徴と活用事例について

株式会社横浜銀行 地域戦略統括部  
プロフェッショナル（金融教育・ブランディング領域） 橋本長明

2022年4月の高等学校学習指導要領改訂では、家庭科と公民科を中心に、金融教育に関する内容がより多く組み込まれました。特に家庭科においては、資産形成の視点に触れながら、ライフステージを見通した経済計画の重要性を学ぶなど、教育現場における金融教育が加速しています。また、成年年齢引下げを受け、消費者トラブルを未然に防ぐためにも、より早い時期からお金に関する知識や判断力の育成が急務です。

金融教育について「おかね」を軸に分かりやすく解説する「はまぎん おかねの教室ウェブサイト」（以下、本教材といいます。）は、「消費者教育教材資料表彰2023」で「内閣府特命担当大臣賞」を受賞しました。本教材の特徴や金融教育活動について、株式会社横浜銀行 橋本様よりお話を伺いました。

本教材の対象は、子どもから大人まで幅広く、年齢に応じた金融リテラシー修得のための学習ができる。

▶金融教育に取り組む背景、本教材の概要を教えてください。

## ■金融教育の必要性と「おかねの基礎教育」

そもそも金融教育とは、「おかね」に関する単なる知識の習得だけではなく、「おかね」という切り口を通じて、「より豊かな生活」や「より良い社会づくり」に向けて、主体的に行動できる力を育む教育です。このため横浜銀行では、この2つの力を育むことに力点を置き、社会に出る前の段階で最低限学んでほしい「おかねの価値観」「おかねの使い方」「金銭管理」「おかねを稼ぐ」の4つを独自の金融教育プログラム「おかねの基礎教育」と位置づけました。これらを学んだ上で、資産形成や金融トラブルなど金融リテラシーを学ぶプログラムを推奨しています。

なお、金融教育と消費者教育は深く関係しています。「おかねの使い方」や「エシカル消費」「金銭管理」など、金融教育には消費者教育に資するものも多数存在するため、本文では金融教育を消費者教育と読み替えていただければと思います。

## ■本教材制作の経緯と特徴

きっかけは新型コロナウイルス感染症の拡大です。オンラインによる教育機会の提供を図るため、2020年5月に本教材の制作を起案し、同年12月に教材「はまぎん おかねの教室ウェブサイト」が公開に至りました。本教材は、金融教育を専門とする私自身が開発から企画・制作・運営をしています。日本銀行・金融広報中央委員会事務局に勤務していた際、金融教育の概念づくりや、2005年の金融教育元年事業に注力しました。その後個人でも「金融教育ディレクター」として長年金融教育に携わった知見（著書『すてきな相棒！おかね入門（リトルモア）』）を動画をはじめ同教材に活用しています。

「おかね」は経済社会を生きる私たちにとって、生きるため、そして夢や目標を叶えるために必要な道具です。この道具である「おかね」の価値観や使い方、付き合い方を伝えることは、生きるための必修教育であると考えてきました。そのため「おかね」の基礎教育をより多くの人に受けてもらうには、学校教育で活用されることが大切だと考えます。したがって当行では「金融教育は地域金融機関の責務であり、社会貢献に資する」という考えのもと、中立公正を第一義に活動しています。

また近年、一般的な教科以外にも年々新しい“〇〇教育”が増えるなど、学校・教育現場では教えることが山積しています。本教材は、金融教育に割く時間が限られることを念頭に、ぎゅっとコンパクトにまとめた4～8分の「おかね」の基礎動画を中心に、“先生ファースト”で制作しまし

た。具体的に、以下のような特徴があります。

### 〈特徴〉

- ・授業やワークショップでの活用を前提にした短い動画（おかねの基礎教育4本＋資産形成の導入など）
- ・教材のほとんどに指導案とワークシートを用意（教員等が簡単に活用できるWordやPowerPoint形式での提供）
- ・幅広い年齢層に対応するべく、小学生・中学生・高校生・大学生以上といった年齢層別に分かれたウェブサイト、本教材に対応する教科を表すマークなどの手掛かりを掲載
- ・誰でも簡単に教材へのアクセスが可能な、非登録制
- ・活用事例を掲載した「授業実践ナビ」ウェブページによって、動画や教材の使い方を指南
- ・制作にあたって、神奈川県教育委員会から当行に派遣される教員の知見も活用
- ・東京証券取引所や東京書籍などとの協働コンテンツも多数用意

### ▶本教材の活用事例について教えてください。

### ■観て、読める活用事例

本教材の活用事例については、前述の同ウェブサイト内の「授業実践ナビ」に加え、「東京証券取引所」や「はまぎん こども宇宙科学館」での活用事例が動画化されていますので、是非ご覧ください。

#### ○本教材ウェブサイト：授業実践ナビ

<https://www.boy.co.jp/boy/brand/okane/navi/index.html>

#### ○はまぎん こども宇宙科学館：「はまぎんキッズサイエンス+『おかねって何？必ず役立つ未来のヒント』」

- ・テーマは、「おかねの基礎教育」から「おかねの価値観」「おかねの使い方」「金銭管理」
- ・親子向けワークショップの動画配信

<https://www.yokohama-kagakukan.jp/event/detail/591/1702652400/>

#### ○東京証券取引所とのコラボコンテンツ「おかねの知識と未来をひらくヒント」

- ・テーマは、資産形成を行う前・学ぶ前に、知っておきたい「おかねの基礎教育」と資産形成の目的

〈セミナーマネ部（動画配信）〉

[https://www.jpx.co.jp/learning/seminar-events/d04/20230831\\_01.html](https://www.jpx.co.jp/learning/seminar-events/d04/20230831_01.html)

〈東証マネ部（ウェブサイト記事）〉



## ■担い手教育や連携、協業

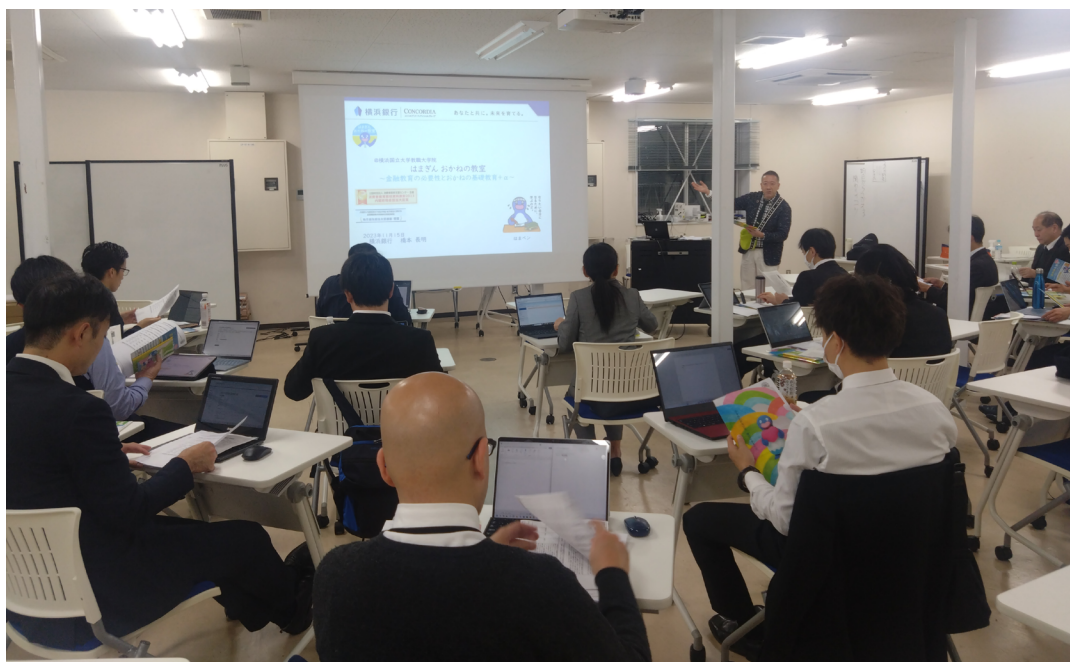
### 《担い手育成》

当行が行う金融教育や「おかねの基礎教育」が、県内ひいては全国に波及し、多くの方が受講できることを願ってやみません。そのためには、実際の学校・教育現場で日々尽力される先生方に、金融教育の重要性や内容を腹落ちしてもらい、先生方ご自身が各学校や地域で授業を展開していただくことが大切だと考えています。そのため、2023年から教員や教育学部生などに向けて、学校教育における金融教育の必要性や「おかねの基礎教育」の授業実践を行っています。多くの受講者が金融教育の必要性を認識し、授業に取り入れたいとの意思表示をされ、早速授業に取り入れた学校も増加しています。

### 【2023年度の実践事例】

- ・神奈川県教育委員会主催「教科等別教育課程説明会（家庭科）」
- ・横浜国立大学教職大学院
- ・横浜国立大学教育学部2年生
- ・神奈川県私立中学高等学校協会・社会科研究会
- ・横浜市中区・西区公立小学校家庭科研究会他





横浜国立大学教職大学院での授業実践の様子

## 《横浜国立大学との連携》

同じく、2023年度より教育学部や同附属学校を多数有する横浜国立大学と連携した金融教育の取組が新たにスタートしました。学長、教育学部長、各附属校長・教員の方々に「おかねの基礎教育」に賛同いただき、前述した担い手教育に加え、附属横浜中学校においては、6コマ310分の授業、さらに、附属鎌倉中学校、附属横浜小学校や、寄附講座として同大学経営学部生などに講義を実施しました。来年度以降も、ブラッシュアップを重ね、モデル授業となり得るよう取り組む予定です。

## 《教育委員会との連携》

### ■神奈川県教育委員会

- ・神奈川県教育委員会主催の教科等別教育課程説明会（家庭科）で講師（動画配信）

### ■秦野市教育委員会

- ・秦野市教育委員会協力のもと、秦野市立本町中学校で公開授業を展開。来年度は複数の小中学校で展開予定

### ■鎌倉市教育委員会

- ・鎌倉市教育委員会と鎌倉市立深沢中学校教員と協働で授業開発・実践

## 《その他》

### ■東京証券取引所との連携

- ・前述の他、当行「おかねの基礎教育」とセットにした講義も計画中

## ■東京書籍との協働

- ・「銀行の仕事って？」 オンライン職場体験

<https://ashitane.edutown.jp/bankjob/>

- ・キャリア教育・職業調べサイト「神奈川県版 EduTown あしたね」

<https://ashitane.edutown.jp/area/kanagawa/>

## ■桐蔭おもしろ体験教室（桐蔭横浜大学・桐蔭学園主催）

- ・毎年夏休みに、親子向けワークショップ開催

## ■その他、教員セミナー、学校での授業、地域イベントなど、県内各所で金融教育を展開

### ▶本教材を使用した方の反応を教えてください。

#### 《横浜国立大学教職大学院》

- 金融教育については、これまであまりイメージを持てないでいた。学校では、いわゆる「〇〇教育」という認識があり、主権者教育、プログラミング教育など、これまでになかった教育の概念が入ってくると、負担感や抵抗感をもつことが多い。しかし、今日の授業で、橋本先生の金融教育に対する熱い思いや、いかに金融教育が大切であるかが伝わったので、何とか取り入れたいと思った。これからの子どもの学びは、学校だけの閉じたものではなく、実生活や社会生活を豊かにするものでなければならないことを考えると、金融教育のねらいも共通するものがあると感じた。特に、子どもが人格の完成を目指して自分づくりをしていくことは、とても重要なことである。私は小学校の教員であり、小学4年生の息子もいるので、我が子も含めて、より多くの小学生に金融教育を学んでほしいと思った。2つの動画を見せていただいたが、そこでまとめられていることは学んでほしいことである。お金自体に価値があるわけではなく、幸せに生きていくためにお金があることや、ニーズとウォンツを自問自答することである。また、金銭管理が幸せの第一歩であることも印象的だった。いかにライフスキルを身に付けるかが大きなテーマである。子どもの発達状況によるが、おこづかいを管理することはライフスキルを高めるために、とても有効である。学校できっかけづくりの授業をして、懇談会などで保護者にも意義を伝え、家庭の取組につなげていくこともできそうだと思った。
- 授業の中で「おかね自体に価値はない。でもすぐれた機能があり、人生に寄り添う便利な道具。人生をかけてしまうものではないし、使いすぎも問題だけど、使わなすぎるのも問題」という言葉が心に残りました。自分の子どもの頃はお金を貯めるばかりで使い方が良く分からずにいました。大人になってからは、使いすぎてしまつて反省することのほうが多かつたように思います。「NeedsとWants」の考え方で、これは本当に必要なものなのか。そう自問自答する癖をつけて、お金を使おうとする時に立ち止まって考えたいと思います。浪費を減らすことができれば、それだけ自分の好きなことや夢への投資に使えるお金が増えます。まずは自分が何にお金を使っているのか、そこに浪費はないのかしっかりと現状と向き合い、自分の消費活動を見つめ直した

いと思いました。帰宅して、小学生の次男に「おこづかいちょう」を渡したらとても気に入って、中の文章を早速読んでいました。「おかねって何?」とか「ニーズ、ウォンツ」「消費・投資・浪費」について、子どもにもわかりやすい説明が書かれていて驚きました。次男は「消費・投資・浪費ってすごくいいね!消費にも投資にもなるのもあるって書いてある。香港へこの間行ったのは消費だし投資だね」と早速その考えを学ぶことができました。子どもにとって少し難しいかなと勝手に大人側が思っていただけで、小学3年生でも消費、投資、浪費をしっかり理解できることが分かり、反省しました。様々な発見のある授業でした。

### 《横浜国立大学附属横浜中学校3年生》

- お金の消費の仕方を、NeedsとWantsで捉え、浪費を防ぐ方法がとても分かりやすかったです。金銭管理と言われると少し難しそうで、まだ中学生だからと、知ろうとしたことはありませんでした。ですが今回の講義で、金銭管理は思ったよりも簡単で、習慣化してしまえば苦にならないし、自分にとってプラスに働くことが分かりました。お年玉なども電子マネーで渡されることもある現代社会で、子どもがお札や小銭に触れる機会が減っていると思います。お金の価値や大切さを知るためにも、子どもに対する金融の授業はとても大切だと、キャッシュレスなどのお話を聞いて感じました。早速来月から「おこづかいちょう」を使ってみたいと思います。金融授業は少し難しく思っていたのですが、とても楽しかったです!ありがとうございました。次回もとても楽しみです!
- 消費者の意識が変われば、社会の在り方も変化していくという点に関して、なるほどと思いました。自分が買いたいものがあつたときには、環境に配慮されたものを選ぶようにして、自分だけでなく他の人にも良い影響を与えられるように買い物をしていきたいと思いました。
- 私は「お金は便利な道具」という言葉が1番印象に残っています。始めは「お金が道具」ってどうということだろうと思いあまりピンときませんでしたでしたが、社会全体のことを考えたら道具だということが分かってきました。道具は正しい使い方をしないと、役に立たなかったり人を傷つけたりするものになってしまうと思います。

### ▶消費者教育を担う先生方や、一般消費者の皆さんにメッセージをお願いします。

全ての皆さんに、金融教育や「おかねの基礎教育」が、単なるリテラシー教育ではなく、「より豊かな生活」と「より良い社会づくり」のためのものであることを腹落ちしていただき、学校・地域・ご家庭などで実践いただけると幸いです。その際、本教材などを使われた際には、専用フォームなどからご一報いただくと大変嬉しいです。皆さん自身が、より豊かな生活を送れますように!

### ▶ありがとうございました。



もっと知りたい方はこちら！

消費者教育ポータルサイト「教材を探す」・「はまぎん おかねの教室 ウェブサイト～消費者教育教材資料表彰2023『内閣府特命担当大臣賞』受賞～」：

<https://www.kportal.caa.go.jp/teaching-material/001257/>

株式会社横浜銀行「はまぎん おかねの教室」ウェブサイト：

<https://www.boy.co.jp/boy/brand/okane/index.html>